ここが聞きたい 一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

委員会代表質問

居場所への移動が困難な方への支援について

居場所の充実を引き続き図っていく



小川（おがわ） 貴夫（たかお）
文教厚生委員長

動画へGO

上下水道の持続可能な事業運営について

問 **災害対策の具体的な状況と現状の評価、持続可能な事業運営への今後の取り組みは。**

答 施設の耐震化について、水道は基幹管路の整備を優先的に進めており、下水道は下水道処理場から進めている。現状の評価としては、水道の基幹管路の耐震適合率は計画に対して若干の遅れが生じているが、緊急時の貯水機能は緊急遮断弁などの整備により、おおむね確保ができている。下水道の耐震化率は、全国平均と比較すると上回っていることから、適切な整備水準である。そして、新たな取り組みとして県および東三河、西三河の自治体により上下水道の一本化と称する一つの共同組織体への検討が進められている。

問 **下水道事業における水の官民連携において本市が期待する効果は。**

答 主に3点あり、1点目は、民間の優れたノウハウを最大限に活用した維持管理の更新サイクル、2点目は、長期的かつ安定的な施設運営の継続、3点目は、国の交付金制度の有効活用による財政負担の軽減である。

ひきこもり支援について

問 **支援を必要とする方の実態把握の方法は。**

答 相談窓口の利用状況、学校や福祉関係部署、地域の見守り活動等の持つ情報を整理し、必要に応じて検討していく。

問 **支援体制の機能強化は。**

答 ひきこもり支援に関する関係部署、関係機関の役割を整理し、支援をつなぐ調整機能を実情に合わせて強化していく。

問 **居場所への移動が困難な方への支援は。**

答 既存の地域公共交通施策、福祉施策や民間団体の取り組みと、どのように組み合わせられるかを整理し、利用ニーズも踏まえ、居場所の充実を引き続き図っていく。